

平成23年度犬山さくら保育園事業報告書

1. 基本理念

こんな保育園をめざしています

- ① 子どもたちに豊かな生活環境を保障していきます。
 - ・「子ども自身が生活の見通しをもてるように」「子どもたちが好きな遊びを十分に楽しめるように」と昨年度は、1・2歳児室の環境整備を行い、子どもにわかりやすい空間を作って保育を展開してきました。今年度はその実践記録から学び、子ども主体の保育、子どもの思いに寄り添うことの理解と実践に取り組みました。
 - ・子どもトイレの改修により、臭いもなく明るい快適なトイレになりました。
- ② 子育てのパートナーとして、保護者が安心して預けることのできる保育園をめざします。
 - ・昨年度は行事「ちびっこ運動会」の内容を検討し、「親子であそぶ」スタイルにしました。今年度はその内容にふさわしい名前「親子げんき広場」と改め、園庭とペンギン室を使用し、親子であそぶ行事としました。
- ③ 職員が生き生きと働き続けられる保育園をめざします。
 - ・職員休憩室の畳の状態が非常に悪く、ウッドカーペットを敷きました。
- ④ 地域に根ざした子育て支援センターをめざします。
 - ・広場担当者の位置付けを明確にし、絵本や遊びの紹介だけでなく、散歩にも取り組みました。ひろばの参加者は、口コミで増え、後半の一時保育の利用につながりました。

2. 保育園内の役割分担を明確にし、遂行する。

- ・手作りおもちゃの会係り：若手職員を中心に、公立職員にも呼びかけ開催しました。公立園からも期待されています。

3. 各種会議の充実を図り、決定事項を全員のものにする。

- ・職員会議：審議事項を先に行い、職員全員が討議に積極的に参加できるよう、グループ討議で意見を出し合い発表し、全体で討議する形を取入れました。活発な意見交換ができつつあります。

4. 地域に向けて子育て支援活動に取り組む。

- ・赤ちゃんひろば 毎週火曜日・なかよしひろば 毎週木曜日を開催し、広場担当職員の位置付けを明確にし、遊びや絵本の紹介等を充実させました。後半は口コミで評判が広がり、参加者が増えました。
- ・地域ピラを四季の丘、もえぎが丘を中心に配布しました。
- ・出張子育て相談室の開催 毎月第2・4金曜日 10時30分～12時30分
手作りおもちゃ、絵本の紹介等、さくらんぼと共に行いました。

4. 職員の資質向上をめざし研修に取り組む。

- ・小規模連主催の実践学習会に2歳児の提案をするため、実践記録をもとに討議を深めました。
- ・全職員とめだかグループ保護者に向け、さくらんぼの栄養士を講師に「食べさせ方講習会」を開催し、子どもの口の動きの発達や、食べさせるときの注意点を学びました。

5. 保育設備

- ・1・2歳児室トイレの改修：珪藻土による壁にしたため、明るく湿気もなく、臭いもなく快適なトイレになりました。園児の汚物入れもトイレに一まとめになり、すっきりしました。冷たい便座のため、冬はトイレに行くことを嫌がる子どもがいたため、便座カバーを付けました。
- ・屋外滑り台の修繕：夏にそれまでに指摘されていたシロアリによる腐食箇所の改修をしましたが、その後の点検で、さらに腐食箇所が発見され、2月に改修を行いました。これで、すべての支柱を取り換えたこととなります。
- ・一時保育室の床の塗装がはがれてきたので、塗りなおしました。
- ・各部屋の引き戸の点検と修繕をしました。

6. 資金の計画

- ・通常経費は、運営費収入および補助金収入及び利用料収入で賄いました。